

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2007-174687 (P2007-174687A)

【公開日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2007-025

【出願番号】特願 2007-10957 (P2007-10957)

【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

H 0 4 S 5/02 (2006.01)

H 0 4 R 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 1 0

H 0 4 S 5/02 P

H 0 4 R 3/12 Z

H 0 4 N 5/44 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 Q

G 0 9 G 5/00 5 3 0 M

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声信号出力装置からの信号に基づき音声出力を行う音声処理装置において、
前記音声処理装置と前記音声信号出力装置との接続状態を示すホットプラグ手段と、
前記音声処理装置の音声出力に関する情報を保持するメモリ手段と、
前記音声処理装置の音声出力構成が変化した場合に、前記音声処理装置と音声信号出力装置との接続状態が所定時間切断状態を示すように前記ホットプラグ手段を制御する制御手段と、を備え、

前記ホットプラグ手段によって前記音声処理装置と前記音声信号出力装置との接続状態が前記切断状態を示した後に、前記メモリ手段に保持された前記音声出力に関する情報が前記音声信号出力装置へ送信されることを特徴とする音声処理装置。

【請求項 2】

音声信号出力装置からの信号に基づき音声出力を行う音声処理装置において、
前記音声処理装置と前記音声信号出力装置との接続状態を示すホットプラグ手段と、
前記音声処理装置の音声出力に関する情報を保持するメモリ手段と、
前記音声処理装置の音声出力構成が変化した場合に、前記音声処理装置と音声信号出力装置との接続状態を切断状態とし、その後再接続状態を示すように前記ホットプラグ手段を制御する制御手段と、を備え、

前記ホットプラグ手段によって前記音声処理装置と前記音声信号出力装置とが前記再接続状態になった後に、前記メモリ手段に保持された前記音声出力に関する情報が前記音声

信号出力装置へ送信されることを特徴とする音声処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の音声処理装置において、前記ホットプラグ手段が、前記音声処理装置と前記音声信号出力装置との接続を開閉するスイッチを含むことを特徴とする音声処理装置。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の音声処理装置において、前記制御手段は、前記音声処理装置の音声出力構成の変化として、前記音声処理装置に接続されるスピーカの接続状態が変化した場合に前記ホットプラグ手段を制御することを特徴とする音声処理装置。

【請求項 5】

請求項 1 または 2 に記載の音声処理装置において、前記制御手段は、前記音声処理装置の音声出力構成の変化として、前記音声処理装置に接続されるスピーカの接続数が変化した場合に前記ホットプラグ手段を制御することを特徴とする音声処理装置。

【請求項 6】

請求項 1 または 2 に記載の音声処理装置において、前記メモリ手段は、前記音声処理装置の音声出力に関する情報が書き換え可能であることを特徴とする音声処理装置。

【請求項 7】

信号出力装置からの信号に基づき音声または映像の出力を行う信号処理装置において、前記信号処理装置と前記信号出力装置との接続状態を示すホットプラグ手段と、前記信号処理装置の仕様またはスピーカ接続情報を前記信号出力装置に伝えるプラグ・アンド・プレイ手段と、

前記信号処理装置の仕様もしくは該信号処理装置のスピーカ接続情報が変化した場合に、前記信号処理装置と前記音声処理装置との接続を一旦切断状態にした後に再接続状態として、前記信号出力装置のプラグ・アンド・プレイ動作開始を要求する手段を有し、

前記信号出力装置がホットプラグ手段による所定時間の切断に応答して再接続後のプラグ・アンド・プレイ動作が可能な場合には、前記切断状態を前記所定時間よりも短くしたこととを特徴とする信号処理装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の信号処理装置が映像表示装置であることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の信号処理装置が音声処理装置であることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 10】

外部の音声信号出力装置からの音声信号が供給され、該音声信号に基づき音声をスピーカから出力する音声処理装置において、

前記スピーカの動作状態に関する情報が書き込まれる記憶手段と、

前記記憶手段に書き込まれた情報を外部の音声信号出力装置に出力するための送信手段、とを備えることを特徴とする音声処理装置。